

災害時の「福祉避難所」に 市と6団体が協定締結



北見市は、災害時に障害者や高齢者など配慮が必要
な避難者を受け入れる「福祉避難所」を確保するため、

災害時の要配慮者受け入れに
関する協定を結んだ6団体の
代表者と辻直孝市長（前列中
央）

市内で高齢者施設を運営す
る6団体と協定を締結し
た。

6団体は、いずれも北見
市に所在する社会福祉法人
の「治恵会」「愛和会」「き
たの愛光会」「きたみ北見
会」、医療法人社団の「久
仁会」「煌生会」。6団体
が運営する計8施設は災害
の際、一般の避難所での生
活が難しく介助が必要な人
を受け入れる福祉避難所と
して機能する。

20日に市役所で協定締結

式が行われ、辻直孝市長と
各団体の代表者が協定書を
交わした。辻市長は「胆振
東部地震のブラックアウト
などで、避難所がいかに大
切か認識した。何かあった
らお力添えを」と呼びかけ、
代表者らは「福祉避難所と
しての訓練をする際は協力
してほしい」「発電機の貸
与や購入費助成の検討を」
などと要望した。

これにより、市が福祉避
難所として利用する施設は
21カ所となる。市はこのほ
か、生活物資の供給に関す
る協定も民間団体と結んで
おり、19日には明治安田生
命保険釧路支社と協定を締
結した。
(本郷由美子)